

筑波大学新聞

第313号

編集責任 筑波大学新聞 編集代表 福原直樹
TEL: 029(853)2040・6699
E-mail: shinbun@un.tsukuba.ac.jp
月刊

発行所 筑波大学
茨城県つくば市 天王台1-1-1

紙面から

- 研究基盤総合センター 大型加速器を搬入
- ライフセイビング ラインスロー 女子が健闘
- 水泳 金子 日本新で優勝
- 佐藤寛悦教授の著書 中国語版を出版
- 人工衛星「結」 データ受信できず
- 街灯問題 ひたたくりや路上強盗相次ぐ

17 魅力満載 どう第2外国語選ぶか
12,13 特集 つくばの歴史をひもとく

つくば市が協議会設置

街灯問題 解決に前進

つくば市内で街灯が未整備な場所が多数ある問題で、同市が解決策の検討のため筑波大学や県、警察、電力会社、各研究機関などの参加を求めた「協議会」を設置することが分かった。筑波大周辺では昨年、深夜、暗い路上で女子大生を狙う路上わいせつ事件(暴行を含む性的嫌がらせ)などの事件が急増。街灯設置の要望が高まっていたが、設置には市や県、各機関の責任・権限などが複雑に入り組み、問題となっていた。協議会設置で、問題の抜本的な解決が期待される。(平嶋健人 社会学類3年、14面に「記者の声」、19面に関連記事)



市原健一・つくば市長 数多く寄せられている」と、市内や関係機関との協議会を立ち上げ、防犯の多くは県道や大学・研究機関沿いにある②のため、つくば市による、街灯には歩道上の犯罪を防止する「防犯灯」(危機管理課)と、道路交通上の事故を防止する「街路灯」(道路課が管理)がある。また▽電柱がなく電気を引けない地域がある▽県道や大学・研究機関の周辺は市の管轄外...などの理由から設置が進まない地域も多い。このため市長は「協議会」に市の各課のほか、関係機関の参加を求め、総合的に街灯問題を解決

していく意向とみられる。一方、同市道路課は協議会設置の方針を認めた上で「協議会の委員選考に、市民の声を反映したい」としている。同市は今月、路上わいせつ事件が多発した筑波技術大(つくば市春日4丁目)の路上に街灯が整備された他の道への迂回を促す看板を設置するなど、問題の解決へ乗り出していた。

筑波大学が全国の大学に先駆けてバリアフリーのための機器設置を積極的に進めている。2月以降、本部棟前に、横断歩道を渡る人をセンサーが感知すると、柱が横断者を感知すると、柱の上の電光掲示板に「歩行者」の表示が点灯する。車椅子の乗った人が歩行者として感知されると、電光掲示板に「歩行者」の表示が点灯する。車椅子の乗った人が歩行者として感知されると、電光掲示板に「歩行者」の表示が点灯する。

支援システム設置 全国の大学で初

筑波大学バリアフリー対策

筑波大の障害学生支援室は毎年、学内の障害学生(平成25年度約70人)や各エリア支援室などにバリアフリーに関するアンケートを実施している。その中で、障害学生が多くが本部棟前のバス停を利用しており、付近での交通安全対策を強く求めていることが分かった。これを受け、同支援室は2月中旬に本部棟前に同システムを設置。交差点の四隅の柱にあるセンサーが横断者を感知すると、柱の上の電光掲示板に「歩行者」の表示が点灯する。車椅子の乗った人が歩行者として感知されると、電光掲示板に「歩行者」の表示が点灯する。



本部棟前に設置されたセンサー

被災地児童に「新体操」 運動不足などに効果

征矢英昭教授らの研究

征矢英昭教授(体育系)、菊池章人研究員らの研究グループが考案した体操が、東日本大震災以後深刻になっていた被災地児童の体力低下を抑える成果を上げている。体操は2分間の音楽に乗せ、インターバルを挟みながら激しく動くもので、垂直跳びや立ち幅跳び、反復横跳び、20秒シャトルランなどの記録が大きい。同教授は今後、被災地だけでなく、校庭が狭いなど運動が困難な環境にある小学校にも取り入れていきたいとしている。(森脇 社会学類2年、13面に「HELLLO! 先端科学」)

同グループが考案した地域の小学校では、校庭に仮設住宅が建設されていたり、通学がスクールバスに頼っていたり、被災した小学校8校。この影響で、運動不足が深刻化している。同グループが考案した体操は、校庭に仮設住宅が建設されていたり、通学がスクールバスに頼っていたり、被災した小学校8校。この影響で、運動不足が深刻化している。



征矢教授らが考案した体操をする児童

同グループが考案した地域の小学校では、校庭に仮設住宅が建設されていたり、通学がスクールバスに頼っていたり、被災した小学校8校。この影響で、運動不足が深刻化している。

同グループが考案した地域の小学校では、校庭に仮設住宅が建設されていたり、通学がスクールバスに頼っていたり、被災した小学校8校。この影響で、運動不足が深刻化している。



ようこそ筑波大学へ

3月7日の合格発表。自分の番号を見つけた受験生は、「まだ実感が湧かない。報われたという気持ち」と笑みを浮かべた。「浪人していただけに本当にうれしい」「親の支えがあったことまで来れた。社会の役に立つような人になりたい」。喜びと期待を胸に、待ちに待った大学生活が始まる。合格おめでとう。ようこそ、筑波大学へ。(5-9面に入学者名簿)

先日、初めて「地球照」を見た。地球が太陽光を月に照り返し、月の欠けて暗い部分をうっすら照らし出す現象。3月上旬の寒空の下、足早く帰宅する途中だったが、その神秘的な光景に、時が立つのも忘れて見入った▼中学生のころまで「将来の夢」は変わり続けた。天文学や生物学に惹かれる一方、言葉や芸術など人間の営みに対する関心も尽きない。何にでも興味のベクトルが向き、自分が何をしたいのかわからない中、たった一つの分野しか選べない「進路選択」は悩ましかった▼大学の比較文化学類に入学後、東京の国立科学博物館で教育ボランティアを始めた。展示解説だけでなく、来館者と直接語り合い、一人ひとりの科学への興味を引き出す。博物館と人をつなぐ役割にやりがいを感じる中、文系の学生が「理系の施設で働く姿に、驚かされることも▼現在の専攻は文学で、児童を学んでいる。その一方で地球照に限りない興味を覚える自分もいる。分野を隔てず興味のあることを素直に追い求め、科学博物館で働いたことで、大きな結果を得た。学びたいことは自分次第。興味を失わず何にでも挑戦すること、新たな価値に出会える▼自分のやりたいことほどにあるのか。顔を上げて見渡せば、今まで気づかなかった世界が、照らし出されているかもしれない。

筑波お話し

先日、初めて「地球照」を見た。地球が太陽光を月に照り返し、月の欠けて暗い部分をうっすら照らし出す現象。3月上旬の寒空の下、足早く帰宅する途中だったが、その神秘的な光景に、時が立つのも忘れて見入った▼中学生のころまで「将来の夢」は変わり続けた。天文学や生物学に惹かれる一方、言葉や芸術など人間の営みに対する関心も尽きない。何にでも興味のベクトルが向き、自分が何をしたいのかわからない中、たった一つの分野しか選べない「進路選択」は悩ましかった▼大学の比較文化学類に入学後、東京の国立科学博物館で教育ボランティアを始めた。展示解説だけでなく、来館者と直接語り合い、一人ひとりの科学への興味を引き出す。博物館と人をつなぐ役割にやりがいを感じる中、文系の学生が「理系の施設で働く姿に、驚かされることも▼現在の専攻は文学で、児童を学んでいる。その一方で地球照に限りない興味を覚える自分もいる。分野を隔てず興味のあることを素直に追い求め、科学博物館で働いたことで、大きな結果を得た。学びたいことは自分次第。興味を失わず何にでも挑戦すること、新たな価値に出会える▼自分のやりたいことほどにあるのか。顔を上げて見渡せば、今まで気づかなかった世界が、照らし出されているかもしれない。



「スポーツペディア」のメインページ

筑波大学体育系では、2月1日からスポーツ事典ウェブサイトを「スポーツペディア」の公開を始めた。筑波大の体育系教員らが執筆する用語事典で、論文にも引用できる。まずはオリピックやサッカーW杯などのイベントに合わせて、各大会の歴史紹介や選手情報を中心に公開し、徐々に内容を充実する方針だ。同サイトは、最先端のスポーツ

辞典サイト「スポーツペディア」公開

スポーツ科学の情報を発信

筑波大学体育系教員らが執筆

スポーツ科学の情報を発信する教育支援サイトを目指す。専門知識を持たない人にも分かりやすい解説を提供する。実技については動画なども公開する。今後は、国内外の有識者にも執筆を呼びかける予定。日本の最新の体育研究を海外の研究者に知らせることを目的に英語版も整えた。

サイトを企画した西嶋尚彦教授(体育系)は「将来、世界中の人がスポーツを学ぶ時に参考にするサイトにしたい」と語った。(森脇 謙二 社会学類2年)

筑波大学研究基盤総合センター 大型加速器を搬入



新設された加速器と笹准教授

世界トップクラスの性能に期待

物質の精密分析などに用いられる「イオン加速器」の一つ「6MVタンデム加速器」が3月6日、筑波大学研究基盤総合センター「応用加速器部」に搬入された。同加速器は高い電圧を保持できる静電加速器で、国内で大型機が新設されるのは約20年ぶり。新装置の加速性能は世界トップクラスで、今後の研究成果が期待される。同センターにこれまであった加速器は2011年の東日本大震災で大きく損傷し、利用を停止していた。(井口彩 社会学類2年)

「タンデム加速器」は、物質内部の状態などを調べるための装置。数万〜数百万ボルトの電圧を加えてイオンを加速し、照射された物質から放射されるX線や粒子エネルギーの変化などを測定する。物理学や工学での実験のほか、文化財の年代測定に用いられるなど、用途は幅広い。

今回搬入された加速器は、直径2.7m、長さ9mの円柱型で、重さは約20t。以前筑波大で使用していた装置よりも高い感度で物質を分析できるほか、ナノ単位の大きさで物体を加えることができる。

加速器には、宇宙で使用する機械の検査ができる。

「タンデム加速器」は、一般企業や研究者向けに加速器の研究利用支援を行っており、30件以上の産学研究実績がある。新しい加速器は今年10月から利用が開始される見通しだ。

同センターの笹准教授(数物系)は「加速器は身の回りのあらゆる物質の性質を調べることができ、将来性のある装置。世界でもトップレベルの装置を生かして、今後は創薬など新しい分野の研究も進んでほしい」と話した。

筑波大は開学当初から約120tの大型タンデム加速器を保有していたが、震災で全壊し、使用することができなくなっていた。

腸内細菌がぜんそくを悪化させる仕組み

渋谷教授らが突き止める

腸内のカビが原因

腸内細菌のバランスの乱れがぜんそくを悪化させるメカニズムを渋谷彰教授(医学医療系)らの研究チームが世界で初めて解明した。これまで、腸内細菌がぜんそくのような腸管以外のアレルギー疾患の発症に影響を与えていることが知られていたが、そのメカニズムは解明されていなかった。今回の研究をきっかけに、新たなアレルギー疾患治療法の実用化が期待される。

人間の小腸や大腸などの腸管内には常に100兆もの細菌が存在しており、それらは善玉菌と悪玉菌に大別される。悪玉菌が腸管内で増殖すると、腸内細菌のバランスが乱れていることになる。

渋谷教授らは人為的にぜんそくを誘発させたマウスの腸管内を観察。その結果、ぜんそくを起したマウスの腸管内では、カビの一種である「カンジダ」が通常の100万倍ほど増殖していることを発見した。カンジダは「プロスタグランジンE₂」という物質を生産しており、これが血管を通過して肺に到達。ぜんそくを悪化させていることが分かった。

また、カンジダやプロスタグランジンE₂を抑える薬は一般的に使われているため、それらをぜんそくの治療薬として使える可能性がある。

渋谷教授は「今後はこのメカニズムによるぜんそく患者がどれくらいいるのかを調査していきたい」と決める。

語っており、治療法の実用化を目指している。(油布 知夏 文学類2年)

大学教員による推薦入試を検討

筑波大学は来年度以降、国立大学では初となる大学教員による推薦入試の導入を検討している。

高校の校長が推薦する形式とは違い、大学の研究室を見学した高卒生や、出前授業などで出会った優秀な生徒を大学教員が推薦。その後、書類審査や面談、論文試験などで合否を決める。

大学教員が見込んだ有望な人材を獲得することが狙いだ。筑波大入試課は公平性や透明性の確保が大きな課題。具体的な実施方法や開始年度は決まっていない」と話しており「課題が解決しない限り、実施はない」としている。

鎌田 博氏(かまた ひろし)筑波大学教授 3月24日、肺がんのため死去64才。

1995年4月から2002年11月および06年から現在まで筑波大遺伝子実験センター長を務めた。

有機薄膜太陽電池 桑原講師らが新製造法開発

低コストで高性能に



新しい製造法で開発した有機薄膜太陽電池のサンプル

陽電池を量産できる期待されている。太陽電池には電気を流すための半導体が必要だ。これまでプラスチック半導体を作るためにはスズやホウ素などの金属分子が不可欠で、製造の際に出た金属のゴミを取り除く作業が必要だった。しかし新しい製造法では、金属分子が不要で、ゴミが発生しない。純度の高いプラスチック半導体を作り出せるため、エネルギーの変換効率が上がり、電池の寿命も長くなった。有機薄膜太陽電池は、今ところ、エネルギーの変換効率がシリコン製の物に劣るため普及していない。神原教授は「新しい製造法により低コストで性能の良い太陽電池が実現すれば、建物の窓や自動車の屋根にソーラーパネルを取り付けられる日が来るかもしれない」と話した。

筑波大学の桑原純平講師(数物系)と神原貴樹教授(同)は物質・材料研究機構の研究グループと協力し、有機薄膜太陽電池の新しい製造法を開発した。現在普及している太陽電池は、重たく厚いシリコンが使われているが、有機薄膜太陽電池はプラスチックからできており、曲げられるほど薄く柔らかく、軽い。今回の成果により、低コストで性能の良い有機薄膜太陽電池を開発した。

BEST FACULTY MEMBER

19人が選ばれる

筑波大学の教員のうち、研究が特に優れた教員を表彰する「2013 BEST FACULTY MEMBER表彰式」が2月12日、大会会館ホールで行われた。会場には、教員や学生ら約100人が訪れ、受賞者の功績を称えた。

平成25年度の「BEST FACULTY MEMBER」に選ばれたのは各系からの19人で、そのうち16人が式に出席した。式の前半では、永田恭介学長から受賞者一人一人に記念の盾とメダルが贈られた。後半では、受賞者が各自の活動内容について、スライドを用いて一人5分程度の講演を行った。

式中で、永田学長は受賞者に対し「今回の表彰を機に、日々の研究活動に一直線に進んでもらいたい」とあいさつした。

第40回学園祭実行委員募集

第40回筑波大学学園祭 豊峰祭が11月1〜3日に開催される。学園祭実行委員会(学実委)では準備・当日運営を行うスタッフを新入生から募集している。4月11日、18日には新歓総会が行われる。学実委は豊峰祭の総合的な計画・運営を担い、年間通じてさまざまな活動に取り組む。また、5月には企画やマスコットキャラクターの募集を開始する予定。

詳細は <http://www.sohosai.tsukuba.ac.jp>

活動場所 学園祭実行委員会(1C204)

第8回常総100km徒歩の旅

第8回常総100km徒歩の旅2014が8月5〜9日に行われる。その学生・社会人スタッフ約150名を募集している。

常総100km徒歩の旅は小学4〜6年生が4泊5日で茨城県の県南地域で100kmを歩くイベント。「ひびくまち」を理念に「子どもたちの生きる力」を育み、地域コミュニティを活性化させることを目指す。社会人・学生スタッフはレクリエーションなどの企画を通して、事業成功のために活動する。問い合わせ jostaff2014@gmail.com

詳細 <http://www.josoi100toho.com>

第40回宿舎祭イベント参加者募集

第40回宿舎祭(やどか祭)が5月30〜31日に開催される。目玉の40周年企画は「福男を模したレース」。平砂学生宿舎周辺のコースを全力で駆け抜け、一番最初にゴールした人が今年度最も勇敢で幸運な「一番福」となる。「一番福」になった人には賞品として特製法被と米30kgを贈呈。競技は31日17時50分開演、対象は新入生のみで、申し込みが必要。例年通り、御輿や模擬店などの参加者も募集している。

問い合わせ fukunotoko.yadoka40@gmail.com

(40周年企画)

第30回つくば芸術祭

第30回つくば芸術祭「円陣全開!!!」が5月3〜4日につくばセンター地区で開催される。軽音楽や和太鼓などの演奏、ジャギリングなどの披露、写真や書道の展示など参加団体が日ごろの練習の成果を披露する「全身全霊企画」、参加団体2つ以上が合同で演奏や展示を行い新たな芸術の形を披露する「コラボ企画」が行われる。また「謎解きはディナーのあとで」などのイラストを手がける、人気イラストレーターの中村佑介さんを招いて講演会を行う。

問い合わせ t.u.a.t.festa@gmail.com

白井哲哉教授(図情学系)

被災地で文化財を収集・保存



資料の一時保管場所(旧相馬女子高校)での搬入作業の様子

地域の記憶 後世に残す

日本アライズを専門とする白井哲哉教授(図情学系)が、福島県双葉町から貴重な文化財を運び出し、保存する活動を行っている。同町は東京電力福島第一原発事故で立ち入り禁止・制限されているが、教授は双葉町から特別に許可を得て、昨年10月までに2度、現地入りしている。教授の活動内容と、そこで見た現地の状況をまとめた。(鈴木拓也)人文学系3年)

白井教授が双葉町の文化「覚書」を締結したが、被災後は、住民などの立ち入り禁止・制限されている。双葉町歴史民俗資料館(新山地区)には、被災した文化財を安全に保管するための準備が行った。作業員は双葉町教育委員会の学芸員、東京文化財研究所や福島県立博物館の職員など数人。同資料館の収蔵庫は照明が使えないので、暗く、2階は棚が倒れていたため、発電機を使って内部を照らした。

白井教授が同資料館へ最初に入ったのは昨年8月で、文化財を運び出すための梱包などの準備を行った。作業員は双葉町教育委員会の学芸員、東京文化財研究所や福島県立博物館の職員など数人。同資料館の収蔵庫は照明が使えないので、暗く、2階は棚が倒れていたため、発電機を使って内部を照らした。

白井教授が2度目に作業に参加したのは10月には、資料の一つ一つの放射線量を測定したうえで梱包された文化財をトラックで運搬。一時「双葉町」福島県浜通り中部にある町。2011年3月11日の東日本大震災で被災し、東京電力福島第一原子力発電所事故の影響で半径20キロ圏内の警戒区域に指定。昨年5月には避難指示区域が再編され、警戒区域は全て解除されたが、今も町の9割以上が帰還困難区域になっている。

町の中 震災当時のまま

白井教授が昨年10月に参加した「双葉町歴史民俗資料館」(双葉町新山地区)の文化財運び出し作業。白井教授に当時の双葉町の様子を聞いた。

10月30日、双葉町から南に約20キロ離れた橋本町。午前9時、双葉町歴史民俗資料館の文化財を運び出すために、白井教授や文化庁の担当者など数人が集合した。

目的地的双葉町から南に約7キロの大熊町まで行く。警察の検問があった。そこで許可証を警察官に見せ、立ち入り禁止区域に入る。福島第一原子力発電所の付近を走行中に放射線量を測ると、国の基準値(毎時0.23マイクロベルト)の約50倍。それでも昨年8月より下がっていた。

双葉町に着くと、震災直後の光景がそのまま残っていた。中心街は震災で崩れた建物の残骸が道路に散らばっている。そのすぐ北にある双葉町歴史民俗資料館に着いたのは10時過ぎ。資料



大熊町の町並み

館に入る前には靴の上からビニールを履かなければならない。関係者によると、地面の放射性物質を建物内に運び込まないためだ。

館内の事務室のカレンダーは2011年3月のまま。予定表にも当時の書き込みが残っていた。震災の影響でトイレは水が流れないため、ポリタンクに入れた水を代わりに使った。作業の約4時間後、資料館から北に40キロ離れた、資料の一時保管所「旧相馬女子高校」に向かった。震災直後、避難所となった旧相馬女子高校の校舎。廊下には「ご自身やご家族の大切な写真を見つけたらお取りください」という表示と共に、津波で流された写真が大量に並んでいた。卒業証書や市民の位牌なども置いてあり、そばには「無(写真などを)持ち帰る人がいない」という張り紙がある。

新任人事

【副学長 医療担当】松村明(兼附属病院長)
【監事】佐藤総一郎、井原宏(非常勤)
【学群・学類長】(人文学系) 人文学類長 大倉浩(人文学系) 比較文化学類長 青柳悦子(同) 日本語・日本文化学類長 竹沢幸一(同) 【社会科学系】 学群長 篠塚友一(同) 【社会科学系】 学群長 根本信義(同) 【国際総合学系】 学群長 関根久雄(同) 【人間学系】 学群長 安藤隆男(人間学系) 【心理学系】 学群長 茂呂雄二(同) 【障害学系】 学群長 大六一志(同) 【生命科学系】 学群長 丸山幸夫(生命科学系) 【生物学系】 学群長 千葉智樹(同) 【生物資源学系】 学群長 繁森英幸(同) 【地球学系】 学群長 荒川洋二(同) 【理工学系】 学群長 宮本雅彦(数理学系) 【数学系】 学群長 田純(同) 【物理学系】 学群長 都倉康弘(同) 【化学系】 学群長 鍋島達弥(同) 【応用理工学系】 学群長 神原貴樹(同) 【工学系】 学群長 坪内孝司(工学系) 【社会科学系】 学群長 張勇兵(同) 【情報学系】 学群長 デイア創成学類長 平賀慶(図情学系) 【医学系】 学群長 二宮治彦(医学系) 【芸術系】 学群長 中村伸夫(芸術系)

【博士課程研究科長】(人文社会科学系) 歴史・人類学専攻長 伊藤純一郎(人文学系) 国際公共政策専攻長 竹中佳彦(同) 【法学系】 専攻長 岡上雅美(同) 【国際地域研究専攻】 専攻長 首藤素子(同) 【国際政治経済学専攻】 専攻長 首藤素子(同) 【社会科学専攻】 専攻長 岡上雅美(同) 【ビジネス科学研究科】 専攻長 西尾テツル(ビジネス系) 【企業経営学専攻】 専攻長 潮海久雄(同) 【国際経営学専攻】 専攻長 大野忠士(同) 【数理学系】 専攻長 木越英夫(数理学系) 【数学専攻】 専攻長 坪井明人(同) 【物理学専攻】 専攻長 矢花一浩(同) 【システム情報科学研究科】 専攻長 大澤義明

【システム情報科学研究科】 専攻長 大澤義明(同) 【生命科学系】 専攻長 岡岡英明(同) 【生命環境科学研究科】 専攻長 江面浩(生命科学系) 【生物物理学専攻】 専攻長 中田和人(同) 【生物資源学専攻】 専攻長 山岡裕(同) 【環境科学専攻】 専攻長 濱健夫(同) 【地球進化科学専攻】 専攻長 久田健一郎(同) 【情報生物学専攻】 専攻長 中田和人(同) 【生物資源科学専攻】 専攻長 田村憲司(同) 【生物機能科学専攻】 専攻長 中俊之(同) 【人間総合科学研究科】 フロンティア医科学専攻 久武幸司(医学系) 【教育科学専攻】 専攻長 清水美恵(人間学系) 【教育基礎学専攻】 専攻長 濱田博文(同) 【学校教育学専攻】 専攻長 清水美恵(同) 【障害科学専攻】 専攻長 野呂文行(同) 【生涯発達専攻】 専攻長 藤生英行(同) 【生涯発達科学専攻】 専攻長 廣田栄子(同) 【感性認知科学専攻】 専攻長 小川園子(同) 【疾患制御医学専攻】 専攻長 千葉滋(医学系) 【芸術学専攻】 専攻長 藤田志朗(芸術系) 【心身障害学専攻】 専攻長 園山繁樹(人間学系) 【図書情報学専攻】 専攻長 杉本重雄(図情学系) 【図書情報学専攻】 専攻長 逸村裕(同)

組織の略称

【学群・学類】(人文学系) 比較文化学類(比文) 日本語・日本文化学類(日語) 社会科学系(社会科学系) 国際総合学類(国際) 教育学類(教育) 心理学類(心理) 障害学類(障害) 生物学類(生物) 生物資源学類(生資) 地球学類(地球) 数学類(数学) 物理学類(物理) 化学類(化学) 応用理工学類(応理工) 【社会科学系】(社会科学系) 比較文化学類(比文) 日本語・日本文化学類(日語) 社会科学系(社会科学系) 国際総合学類(国際) 教育学類(教育) 心理学類(心理) 障害学類(障害) 生物学類(生物) 生物資源学類(生資) 地球学類(地球) 数学類(数学) 物理学類(物理) 化学類(化学) 応用理工学類(応理工) 【生命科学系】(生命科学系) 比較文化学類(比文) 日本語・日本文化学類(日語) 社会科学系(社会科学系) 国際総合学類(国際) 教育学類(教育) 心理学類(心理) 障害学類(障害) 生物学類(生物) 生物資源学類(生資) 地球学類(地球) 数学類(数学) 物理学類(物理) 化学類(化学) 応用理工学類(応理工) 【工学系】(工学系) 比較文化学類(比文) 日本語・日本文化学類(日語) 社会科学系(社会科学系) 国際総合学類(国際) 教育学類(教育) 心理学類(心理) 障害学類(障害) 生物学類(生物) 生物資源学類(生資) 地球学類(地球) 数学類(数学) 物理学類(物理) 化学類(化学) 応用理工学類(応理工) 【医学系】(医学系) 比較文化学類(比文) 日本語・日本文化学類(日語) 社会科学系(社会科学系) 国際総合学類(国際) 教育学類(教育) 心理学類(心理) 障害学類(障害) 生物学類(生物) 生物資源学類(生資) 地球学類(地球) 数学類(数学) 物理学類(物理) 化学類(化学) 応用理工学類(応理工) 【芸術系】(芸術系) 比較文化学類(比文) 日本語・日本文化学類(日語) 社会科学系(社会科学系) 国際総合学類(国際) 教育学類(教育) 心理学類(心理) 障害学類(障害) 生物学類(生物) 生物資源学類(生資) 地球学類(地球) 数学類(数学) 物理学類(物理) 化学類(化学) 応用理工学類(応理工)

建物の名称

▽第1エリアA棟 1A棟、B棟 1B棟、C棟 1C棟、D棟 1D棟、E棟 1E棟、F棟 1F棟、G棟 1G棟、H棟 1H棟、I棟 1I棟、J棟 1J棟、K棟 1K棟、L棟 1L棟、M棟 1M棟、N棟 1N棟、O棟 1O棟、P棟 1P棟、Q棟 1Q棟、R棟 1R棟、S棟 1S棟、T棟 1T棟、U棟 1U棟、V棟 1V棟、W棟 1W棟、X棟 1X棟、Y棟 1Y棟、Z棟 1Z棟

新人記者募集

筑波大学新聞 新人記者募集

新人記者 募集!

筑波大学新聞

続くスクープ
社会が動く

名刺一枚、
誰にも会える

元事件記者の
教授が指導

部数2万部
地域にも配布

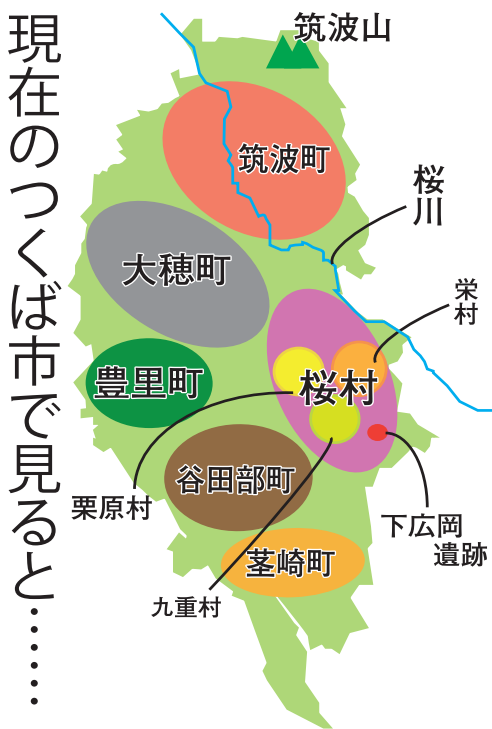
「全国紙で事件記者を15年、
海外特派員を15年勤めました。
その経験から記者はこの世で
最も面白い商売の一つと断言します。
若い時代にその一端をのぞくことは
非常に意義のあることです」

編集代表 福原直樹教授

イラスト 姉崎信 =心理学類2年

活動場所：共同利用棟 104
毎週月曜に編集会議

連絡先
TEL：029 853 6699
E-mail：shinbun@un.tsukuba.ac.jp



現在のつくば市で見ると……

古代の遺跡数多く残る

縄文時代に日本地域に伝来したと言われている稲作が桜村で行われるようになったのは、西暦250年ごろから。那珂川流域で始まったとされる。

8世紀に書かれた『常陸国風土記』によると、桜村は河内郡筑波郡、信太郡に分かれていたという。筑波郡栗原郷(現在のつくば市栗原周辺)から朝廷に献上された「栗原の白布」の戦いとなった。なお小田氏が贈った「中家郷の調城跡(つくば市小田)」は

1987年に「つくば市」が誕生するまで、筑波大学の筑波キャンパス(春日エリアを除く)は「旧桜村」に所在した。研究学園都市に発展する以前、桜村一帯はどのような歴史を歩んできたのか。元筑波町(現つくば市北条地域など)町長・元つくば市教育長で、筑波大の特別授業「筑波山に学ぶ」の講師、井坂敦美さんと、桜村歴史民俗資料館(つくば市金田)、筑波大施設部の協力を得て、筑波大周辺地域の歴史をひもとく。(望月麗二比較文化学類、井口彩、森脇慎二社会学類、姉崎信二心理学類) / 参考文献『桜村史(上・下巻)』編集: 桜村史編さん委員会、発行: 桜村教育委員会『桜村の民俗』編集: 桜村の民俗編集委員会、発行: 桜村教育委員会『大穂町史』編集: 大穂町史編纂委員会、発行: つくば市大穂地区教育事務所

古代・中世

■縄文時代
桜村地域に人が住む歴史は古く、約1万2千年前から約1万年にわたって続く縄文時代までさかのぼる。下岡遺跡(つくば市下岡)では86軒の竪穴住居が建っていた跡や、縄文土器などの生活用品も多く見つかる。この下岡遺跡跡をはじめ、遺跡は多く見つかっているが、そのほとんどが桜川の近くにあることから、桜川がこの地域の人々の中心にあつたことがうかがえる。

■奈良時代
8世紀に書かれた『常陸国風土記』によると、桜村は河内郡筑波郡、信太郡に分かれていたという。筑波郡栗原郷(現在のつくば市栗原周辺)から朝廷に献上された「栗原の白布」の戦いとなった。なお小田氏が贈った「中家郷の調城跡(つくば市小田)」は

古墳時代

■古墳時代
4世紀末から5世紀初め、桜村地域は大和朝廷の支配下に入ったとされ、同時に渡来人も来訪。土地開拓などに大きく貢献した。

■鎌倉・室町時代
鎌倉時代からの筑波地域を語る上で欠かせないのが小田氏の存在だ。小田氏は鎌倉時代に、源頼朝から筑波郡にある小田という土地を与えられた八田知家から始まった一族で、その地に建てた小田城を中心として桜村を含む筑波地域を支配した。小田氏は15代続いたが、当時は南北朝の内乱や応仁の乱、そして戦国時代と続く戦乱の時代であり、村民は備兵に駆り出されるなど、不安定な生活を送っていた。特に南北朝の内乱の際には、小田城の攻防が南朝の敗北を決定づける激しい戦いとなった。なお小田氏が贈った「中家郷の調城跡(つくば市小田)」は

近代

■江戸時代
江戸時代になると、徳川家康は、十農工商の階級制度を確立し、その影響は桜村にも及んだ。桜村は、幕府の直接の支配を受ける「天領」と、土浦藩領または石岡藩領のいずれかに属する。

1935(昭和10)年に国指定史跡に指定され、現在でもその遺構を見ることが出来る。

■明治以降
明治維新後、桜村は水田と畑が広がる農耕地帯。明治初期に行われた「国郡等級付け」によると、筑波大学周辺の「新治郡(当時)」は県内でも最上位の地方(土壌に含まれる水分や肥料が豊富で農作物を育てやすい土地)を持っていたとされ、中でも桜村一帯は一段と高い地方を所持していたという。

主な作物は、米、麦、綿

年	出来事
1987年	つくば市誕生に際し併合される
1963年	筑波地区に研究学園都市建設決定
1955年	旧桜村が誕生
1900年ごろ	藍染・養蚕が盛んになり養蚕は県で一番に
1782年	天明の凶作
1590年	小田氏滅亡
1341年	南北朝の内乱を決する契機となる小田城の攻防
1199年	小田氏の祖、八田知家が小田城を築く
763年	栗原郷が朝廷に白布を献上
5世紀始め	土地開発進む
4世紀末	朝廷の支配下に入り
縄文時代	桜村地域に人が住み始める

養蚕が支えた村の生活

藍染だったが、1900年ごろから綿と藍は衰退。代わって養蚕が盛んとなり、つくば市周辺が養蚕の盛んな地域であったことは、正初期から1940(昭和15)年ごろまで、桜村一帯「蚕影神社(つくば市神郡)」などの名前からも分かる。また、この地域を流れる鬼怒(絹)川、小貝(蚕飼)川、糸繰川も、それぞれ地域の歴史に影響された呼び名といえるだろう。養蚕の担い手である女性たちは、絹糸にならない繭を利用し、紡ぎや染め物を行い、家族の衣類を仕立てていた。桜村歴史民俗資料館には、当時の村民が使用していた衣類や藍染めが展示されている。

■旧桜村の誕生
1955(昭和30)年7月22日、現在の筑波大学周辺地域の前身「旧桜村」が、当時の栄村、九重村、栗原村の合併により成立した。それぞれの村から「つくば」の一字ずつを受け継ぎ、「桜村」と命名された。合併当時の人口は約9800人で、純農村型社会だったが、1963(昭和38)年に閣議が研究学園都市の建設地を筑波地区に決定。翌年に茨城県と関係6カ町村が同計画への全面協力を表明して以降、桜村は都市型農村へ変遷を始めた。「研究学園の建設に伴い、桜村の人口は急増した」と井坂さんは話す。

1987(昭和62)年11月30日に筑波郡谷田部町、大穂町、豊里町、新治郡桜村の3町1村が新設合併し、人口約11万人の「つくば市」が誕生するが、合併当時の桜村の人口は4万人を超えており、日本で一番人口の多い村となった。なお「つくば市は1988(昭和63)年に筑波郡筑波町、2002(平成14)年に稲敷郡笠崎町を編入し、現在の市域に至る。



筑波地域の歴史を語る井坂さん

筑波山

つくば市で最も有名な観光地といえば、筑波山。標高877mで、男体山、女体山の2峰からなり、古代から人々の信仰の対象としての長い歴史がある。ここでは、元筑波町長を務めた井坂敦美さんの話を基に筑波山の歴史について紹介する。

筑波山は、古代より「西の富士、東の筑波」と称される関東の名山。その独特な姿は、8世紀の『常陸国風土記』の頃から1300年以上に渡り、人々の信仰を集めてきた。山中から発掘された土器や銅鏡の中には、8世紀ごろ祭祀に用いて

奈良時代から続く信仰



桜川流域から見た筑波山(撮影地:つくば市北条)

いたと考えられるものも発見されており、いかに筑波山が尊ばれていたかが分かる。

筑波山信仰の拠点となったのが、山の中腹から頂上までを境内とする「筑波山神社」。山そのものがご神体とされ、2峰を男女の神に見立てていることから縁結びと夫婦仲を取り持つ神社として知られている。周辺の集落ではさまざまな儀式が継承されてきたが、最も重要なものが「御座替り」の神事。4月1日と11月1日の年2回、神社に祭られている「親神」と子神が御座(神の居所)を替えたことが「田の神」の原型ではないかと推測されている。

紀後半に作られた現存最古の歌集『万葉集』には、筑波山を題材にした和歌が25首詠まれており、これは万葉集に収録される全約4500首の中でも随一の数を誇る。富士山に関する歌が13首のみであることから考えても、筑波山が当時の日本人にとって特別なシンボルだったことが分かる。

現在の筑波山地域は、地層や岩石などにも貴重な資源を含むと注目され、山麓の北条地域などを中心にジオパーク(地球科学的に貴重な地域遺産)への登録を目指して活動している。

井坂さんは「筑波山は古くから地元の人々の生活と密着してきた。筑波山は私たちがどうして、何を見てもほっとする郷里の風景」と語った。



縄文時代から 研究学園都市になるまで

池の歴史

筑波大学には5つの池がある。それぞれ兵太郎池、松美池、天久保池、追越池、春日池と名前がつけられている。筑波大学施設部によると「これらの池はもとも筑波大学の土地にあったものではなく、大学建設に伴い新たに作られた」という。つくば市の近くには霞ヶ浦があり、水を連想する人が多いものの、学園都市自体には川もなく、わずかな農業用溜池しかなかった。特に大学周辺は、比較的乾燥したアカマツ林と開墾からなる低い台地だった。そこに建物を建て、道



学生の憩いの場となっている松美池

大学建設に伴い作られる

い状況になる可能性があった。そこで、キャンパスデザインの一環として池を作り、雨水をキャンパスに溜める案が採用された。池を作ることに伴い、筑波大学周辺地域のイメージアップも期待され、二石二鳥の案であった。5つの池の中でも、第1エリアにある松美池では、池の前で音楽系サークルによる催しが開かれ、学園祭では「松美記念」と題した池の中を走る徒競走が行われるなど、多くの学生に親しまれている。その他にも、昼休みや放課後の憩いの場として学生らに利用されることも多く、池は筑波大学にとってなくてはならない存在だ。池は大学の発展とともに、つくばは「水の歴史」をもちた。

大学周辺の地名由来

筑波大学内の地名についても、歴史に関するものが多い。大学本部棟がある「天王台」の名は、筑波キャンパス北部に位置する「二ノ矢八坂神社」に由来する。同神社の祭神「スサノオノミコト(天王様)」は牛頭天童と呼ばれ、除疫神として信仰された。そこで疫病の流行しやすい夏(旧暦6月7日)に祇園祭が行われるようになった。この時、



現在の大学本部棟(つくば市天王台1丁目)

仮屋を建て、御輿(天王様)に効果があるとされるニンニクを売る露店が境内に並ぶことから、現在は「ニンニク祭り」という呼び名で付けられた(大学本部棟は天王台1丁目)。なお、この他、学生宿舎の地区の祇園例大祭は、疫病除け名となった平砂、追越、一

筑波自然図鑑



水の綺麗な小川で生活している。黄色の体に黒の縞模様という、なかなか美しい姿をした昆虫だ。小さな体で川面を素早く動き回るため、その姿を写真に捉えるのは至難の業。(写真・文)今田創、比文2年、野生動物研究会)

シマアメンボ

アメンボというと、田んぼやプールなどで見かけるイメージがある。しかしこのシマアメンボは、普通のアメンボとは違い、山地の



健康のために運動をしようと考えている人は多い。ランニング、ジム通い、筋トレ……。だが「明日からやろう」と思って結局やらなかったり、「三日坊主」で終わってしまうことも多い。

BAMISプロジェクト 「楽しみ」で運動が長続き 集中力や判断力も上昇

健康を保てないという固執観念が、運動を続ける上でのハードルになる場合もあるが、征矢教授は「長時間の激しい運動は疲労が激しくむしろ逆効果。楽な運動にも大きな価値がある」と言う。征矢教授は、歩行程度の運動を2〜4週間続けるこ

と、軽い運動を10分ほど行うと、脳で注意力や集中力、判断能力(認知機能)をつかさどる背外側前頭前野が活性化される。例えば勉強の前にウォーミングアップをすれば、集中して机に向き合い、計算が速くなるなど効率が高くなる。そして「楽



ロジックで、運動を最先端の脳科学によって研究し、いつまでも続けられるような運動のプログラム開発・応用を目指している。

飽きるが、自分から積極的に楽しめる運動ならば続けることができる。「好きな仲間とやったり、音楽を聞きながら運動したり、快適な環境を作ることが重要」と征矢教授は語る。

征矢教授によくと、その中でも、運動をしようにも長続きしないの

征矢教授の今後の目標は「誰もが気軽に運動をしようと思うようになること」。東京オリンピック

原点 GEN-TEN

私は現在、生物学の研究者をしている。生物学者の中でも動物を扱う研究者には、私も含め「動物好き」ということが研究の「原点」になっている人が多く、このことは子どものころからの趣味にも強く反映されている。周りの生物学者には「毎日海に潜って魚をとっていた」「子どものころから昆虫少年だった」という人も目立つ。私の場合は、これまでに

変な形の動物に惹かれる 動物の進化過程の研究へ

が、引越しの多い私はペット不可の賃貸住宅に住むことが多く、動物飼育にのめり込むこともなかった。では、私は子どものころからどのように動物好きの欲求を満たしてきたのか。水族館・動物園通いである。子どものころは機会があれば、たとえ旅先でも水族館に

う枠にはまった動物ばかりである。それに対し水族館には植物のようなサンゴ、かわいらしいクリオネ、胸がなく脚しかないようなワミヅモ、星の形のヒトデなど、実にさまざま変わった形の動物が多い。このような変な形の動物に子どものころから私は強く惹かれていた。この動物を初めて自分で採集して、水槽内で飼育して、幼生が泳ぐのを見て、研究成果がでた時の興奮が忘れられず、その後も変な動物ばかりを研究対象に選んでいる。日本の大学院生・研究員のころにはウミシダやマナコ、その後約6年間滞在したスウェー

なかの・ひろあき 生命環境系、下田臨海実験センター助教。東京大学大学院修了、慶應大学文学部研究員、スウェーデン王立科学アカデミー研究員、イェテボリ大学助教を経て、2010年から現職。専門は進化発生学、海洋生物学。

筑波時評



山本泰弘

循環バス定期値上げ

「月単位定期券」の導入でみんなのための循環バスを

キャンパス交通システム(循環バス)の年間定期券学生料金が倍額に値上げされた。広範な学生に利益をもたらす「バラマキ的」(料金改定説明会資料より)支援を廃し、「真に必要な」(同)学生支援に特化するとの説明だ。新入生は、グループバル人材のような大学側が必要とされる学生にすれば優遇されることを

「値上げの結果、定期券購入者が想定よりも著しく少なく、多量の在庫が発生。定期券を購入しない比較的低度の利用者も、乗車する都度料金を支払うため、従来より不満の声が挙がっていた。バスの遅延がさらに増加

「人間の可能性と多様な尊厳」(ダイバシティ推進室)を掲げる本学。ちょっとした工夫により多様な人々への配慮を示すか、苦勞は買ってでもしるべきか、に突き放すか、公器としての度量が問われる。(国際部 岩浅研究室技術補佐員)

し、利用者離れを加速した。さて4月からの実態はどうだろうか。循環バスは、筑波大関係者の一部でなくみんなが親しんで利用する共有インフラのはずだ。大学からの補助の削減の中、バス利用のハードルを下

「二つに、留学生の利用促進だ。本学への留学生の大多数は、年度の途中からつくばでの生活を開始する。留学生にとって、日本の年度を単位とした年間定期券は利用しにくく、余計な負担を求めていることになる。月単位定期券の発売によって、留学生もより気軽に循環バスを利用できるようになる。

記者の声



平嶋健人

街灯問題を解決するため、つくば市が筑波大学や各研究機関、警察などに参加を求め、協議会を立ち上げることが分かった。背景には、関係機関を集めることで街灯の設置権限などが入り組んだ「縦割りの行政」の壁を越え、問題の解決を一気に

進める狙いがあるとみられる。だが、その発足にあたり「一」だけ提案がある。協議会に学生の声を反映させてほしい。暗い道で犯罪被害に遭っているのはほとんどが学生で、問題解決に向けた有効な助言ができると思うからだ。

「これまでの経緯を振り返ってみよう。筑波大周辺では昨年、深夜に女子学生を狙った

「だが、街灯増設までの道は多難だった。つくば市によると、県道や研究機関の私有地は市の管轄外で各機関が街灯設置の

「街灯問題に関して市役所を取材した際にも、問題解決の難しさを感じた。ある担当課を訪れると「当該課だけでは判断・解決できない」として担当課から別の課を紹介され、その課を取材するとまた別の課へ……とさまざまな部署を「たらいまわし」されることになった。

「オールつくば」実現を

今回の協議会の設置は、そうした「縦割りの現状を打破する試み」と



つくばに街灯を

予算を確保できず、敷地内に街灯を設置できない。市内には、電柱がなく街灯用の電気を引けない場所がある……など多くの課題があった。これは市や県や各機関の責任・権限などが複雑に入り組んでいるため「縦割り」の現状では対応しようがない。

「無難、被害者学生を協議会のメンバーとして迎える必要はない。だが、日々、危険な経験にさらされる学生の皮膚感覚は協議会で生きたる。単なる学生の代表へのヒアリングだけでも十分効果があるはずだ。

「つくば市の市原健一市長は昨年、本紙のインタビューで、今後の市について「行政や大学、企業や市民が連携し、『オールつくば』で協力するシステムが必要。関係者がネットワークを作ることがつくば市を発展させる」と述べた。学生の意見を協議会に反映させることは「オールつくば」

「実現への大きな一歩となる。(筑波大学新聞編集長・社会学類3年)

反射鏡

人をつなげる憩いの場

飯島(PN)

「食堂」でアルバイトを始めて二年半が経つ。正直いって大衆向けに安価で食事を提供している「天衆食堂」でのアルバイトだ。「食堂」というと家庭的な雰囲気を感じて浮かべる人が多いのではないだろうか。肉じゃが、おひたし、焼き魚。「おふくろの味」を求めて来店する人が多い。そう、「食堂」には「おふくろ」がいてるのだ。

「食堂」でアルバイトを始めて二年半が経つ。正直いって大衆向けに安価で食事を提供している「天衆食堂」でのアルバイトだ。「食堂」というと家庭的な雰囲気を感じて浮かべる人が多いのではないだろうか。肉じゃが、おひたし、焼き魚。「おふくろの味」を求めて来店する人が多い。そう、「食堂」には「おふくろ」がいてるのだ。

「量少なめの新メニューを」(草(PN))

「とお腹がかなり苦しくなっていることがしばしばある。食が細めの人には尚更だが、大学の食堂としてはどうだろうか。あまり

「すなわち、少食の人々が、多くて欲しいという話も聞いた。私はやはり今の普通盛りと、自分の許容範囲を越えりとは別に、量の少なめのメニューが必要だと思う。

食堂らしさ

あやふやに

芋山武(PN)

若者が3年で会社を辞めてしまう現代。企業は、離職率を下げようとしてさまざまな策を取っている。某健康な「社員食堂」を何軒も見かけた。社員食堂が脚光を浴びたのは記憶に新しいが、社員食堂を充実させるには、社員満足度を高める必要がある。食堂らしさを高めるには、メニューの多様化や、食卓の雰囲気作り、清潔な環境の維持などが重要だ。

「食堂」とは何なのか分からなくなってきた。食堂らしさを高めるには、メニューの多様化や、食卓の雰囲気作り、清潔な環境の維持などが重要だ。

「食堂らしさの欠如はどこから来るのだろうか。やはり「食堂のおばちゃん」がいなくなることが大きいかもしれない。

「食堂のおばちゃん」がいなくなると、食堂の雰囲気はガラッと変わる。おばちゃんには、腹を空かせた貧乏学生に余った料理をタダであるかもしれない。

「次号のテーマは「休日の過ごし方」です。600〜800字程度・締切は5月22日



今日のテーマ

食堂

「休日の過ごし方」です。600〜800字程度・締切は5月22日

TEL 029-853-6699

第5回全日本学生ライフセービング・プール競技選手権

ラインスロー 女子が健闘

【千葉県国際総合水泳場(千葉県習志野市)で添島香苗(生物学科2年)水難救助の技術を競う第5回全日本学生ライフセービング・プール競技選手権大会が、2月22-23日に行われた。男女それぞれ12種目があり、筑波大女子はプール中央に「溺者役」にラールサイドからロープを投げ、溺者役がプールサイドまで到達する時間を競うラインスローで、松山恵香(平成25年度社会学類卒)・渡辺夏海(知識図書2年)のペアが22秒72の自己ベストで5位入賞を果たした。

松山・渡辺ペア5位入賞



20秒のマネキンを抱えて泳ぐ「マネキンキャリアー」

自己ベスト達成

ラインスローの種目で、救助者はプールサイドから12メートル先にある溺者にロープを投げて救助する。ロープは何度も投げられるが、制限時間(45秒)を超えるとは格別となる。女子ラインスローは大会2日目に行われた。これまでの練習では、救助の松山が投げたロープが溺者役の渡辺に届かず苦しかったし楽しかった(渡辺)。

ライフセーバーの自覚見た戦い

観戦記

筑波大チームを見ていて印象的だったのが、選手たちに見られるライフセーバーとしての自覚だった。競技はあくまで救助活動での技能を磨くためのものだ。このため、さまざまな規定がある。例えば、20秒のマネキンを抱えて泳ぐ「マネキンキャリアー」では、マネキンの口と鼻が沈むことが出来なかった。練習をせずに、松山の手が最後の大会だった。今後は、社会人としてライフセービングとの関わり方を模索していきたいと話した。

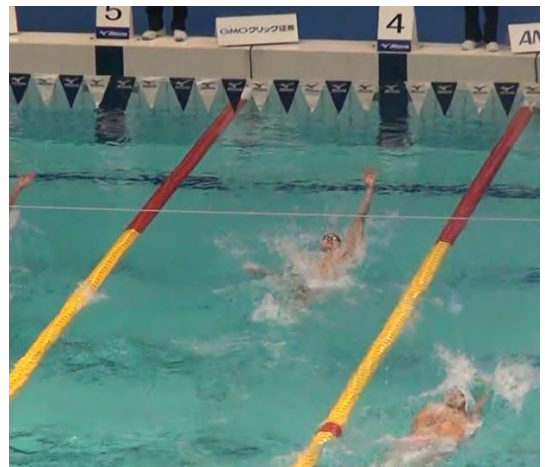
金子 日本新で優勝 男子200背

小林 終盤の接戦制す 女子50平

水泳競技

短水路(25メートル)の競泳日本一を決める第55回日本選手権(25日)水泳競技大会が2月15-16日、東京都国際水泳場(東京都江東区辰巳)で開催され、男子200メートル背泳ぎで金子雅紀(平成25年度体育専門学群卒)が1分48秒84の日本新で優勝した。金子は男子100メートル背泳ぎも制し、2冠を達成。女子50メートル平泳ぎでは、小林明日香(体育専4年)が優勝した。金子は日本記録更新を公言して今大会に臨んだ。男子200メートル背泳ぎ決勝では、前半から積極的な泳ぎを見せ、100メートルトップで折り返す。150メートル時点で予選1位の白井裕樹(ミズノ)に抜かれたが、ラスト

4万国の選手が参加するパシフィック水泳選手権の代表選考会を兼ねた日本選手権を控える。金子は背泳ぎには、オリンピック代表に選ばれたことがある。江陵介選手や萩野公介選手がいる。この2人を抜く勢いで勝ちたい」と今後の目標を掲げた。小林は、女子50メートル平泳ぎ決勝でスタートダッシュを成功させてトップに立つ。終盤は上位3選手で接戦となったが1位を守りきった。「毎年4位や5位で表彰台を逃していたので優勝できて嬉しい。4月の日本



200メートル背泳ぎで優勝した金子

柔道 グランドスラム・パリ 男子81キロ級 永瀬3位 準々決勝で敗退

柔道

柔道グランドスラム・パリが2月9-10日にフランスのパリで開催され、男子81キロ級で永瀬貴規(体専3年)が3位に輝いた。永瀬は初戦から順調に勝ち進み、準々決勝で世界ランキング1位のアフタン・ディル・チルキシビリ(グルジア)と対戦。昨年11月12日に行われたグランドスラム東京で一本勝ちした相手だったが、攻撃の機会を得られず、指導を3回受けて敗退した。3位決定戦ではヴァロア・フォルティエ(カナダ)と対戦し、大外刈りで勝利した。(新田 萌夏(社会学類2年))

黒岩が3位

関東柔道選手権大会が3月2日に鎌倉武道館(神奈川県鎌倉市)で行われた。男子は黒岩貴信(体専3年)が3位に輝いた。



「いつかは父の記録を超えたい」 はっきりしたまなざしで語るの三段跳びの山下航平(体専2年)。父の山下訓史は三段跳びで1986年、17歳と15歳という日本記録を作った。自身も高校3年の時に団体で優勝するなど周囲からは「サラブレッド」と評される期待の選手だ。陸上を始めたのは小学生のころ。「速く走れるようになったかった」と、始めた当初はハードル、中学生になってからは走り幅跳びを専門にしていた。だが、それまでの成績は中学生の時に福



三段跳びのサラブレッド 山下航平(体専2年)

「強い憧れを持ち続けた高校3年間。練習を重ねるたびに才能はめきめきと開花し、高校3年生の時には国体優勝を成し遂げ、一気に注目されるようになった。そして更なる飛躍を求めて筑波大学に進学。恵まれた練習施設があることや両親が筑波大出身であることが決め手になった。入学後、父が大学時代に三段跳びを練習した憧れの場所を練習できる」と喜びをかみ締めた。現在は高校時代に行ってきた練習に加え、コーチや先輩から積極的にアドバイスをもらって、新しい練習にも取り組んでいる。小・中・高とそれぞれ別の種目を行ってきた

父の記録超えたい

が3位、永瀬貴規(同3年)が4位入賞を果たし、4月の全日本柔道選手権の出場権を獲得した。女子は菅原歩巴(平成25年度体育専門学群卒)が準優勝、古屋梓(体専3年)が5位で同選手権出場を決めた。黒岩は初戦で一昨年の全日本選手権優勝者である加藤博剛(千葉県警)と対戦。払腰で技ありを奪うと、袈裟固めで押さえ込んだ合わせ技で一本勝ち。その後も勝ち進んだが、準決勝でウルフ・アロン(東海大浦安)高に一本を取られ敗退した。永瀬は4回戦で鈴木蒼広(山梨学院大)に一本勝ちした。(新田 萌夏)

記録ファイル

- ◆水泳(競泳) 第37回関東学生冬季公認記録会(3月9日、千葉県国際総合水泳場)
 - 【男子】200メートルメドレーリレー・金子雅紀(平成25年度体育専門学群卒)、林佑樹(同)、佐藤智俊(同)、鏡味卓也(体専4年) 1分35秒55(日本短水路新記録)
 - ◆オリエンテーリング
 - 2013年度日本学生オリエンテーリング選手権大会(3月8日-9日、栃木県矢板市) 個人ミドルディスタンス
 - 【男子】男子選手権クラス 第2部・野本圭介(社工4年) 36分1秒4位、男子
 - 【男子】ブロック戦▽筑波大51-96新潟大▽筑波大84-48群馬大▽筑波大71-65広島大・順決定戦▽筑波大93-28東京大▽筑波大71-39山形大▽筑波大78-48金沢大・最終結果▽9位
 - 【女子】女子選手権クラス・柳川梓(平成25年度社会学類卒) 37分42秒7位、小松陽子(地球3年) 39分05秒9位
 - ◆バスケットボール 第27回全国国公立大学バスケットボール大会(3月21-23日、筑波大学中央体育館)
 - 【男子】ブロック戦▽筑波大51-96新潟大▽筑波大84-48群馬大▽筑波大71-65広島大・順決定戦▽筑波大93-28東京大▽筑波大71-39山形大▽筑波大78-48金沢大・最終結果▽9位
- ◆水泳(競泳) 第37回関東学生冬季公認記録会(3月9日、千葉県国際総合水泳場)
 - 【男子】200メートルメドレーリレー・金子雅紀(平成25年度体育専門学群卒)、林佑樹(同)、佐藤智俊(同)、鏡味卓也(体専4年) 1分35秒55(日本短水路新記録)
 - ◆オリエンテーリング
 - 2013年度日本学生オリエンテーリング選手権大会(3月8日-9日、栃木県矢板市) 個人ミドルディスタンス
 - 【男子】男子選手権クラス 第2部・野本圭介(社工4年) 36分1秒4位、男子
 - 【男子】ブロック戦▽筑波大51-96新潟大▽筑波大84-48群馬大▽筑波大71-65広島大・順決定戦▽筑波大93-28東京大▽筑波大71-39山形大▽筑波大78-48金沢大・最終結果▽9位
 - 【女子】女子選手権クラス・柳川梓(平成25年度社会学類卒) 37分42秒7位、小松陽子(地球3年) 39分05秒9位
 - ◆バスケットボール 第27回全国国公立大学バスケットボール大会(3月21-23日、筑波大学中央体育館)
 - 【男子】ブロック戦▽筑波大51-96新潟大▽筑波大84-48群馬大▽筑波大71-65広島大・順決定戦▽筑波大93-28東京大▽筑波大71-39山形大▽筑波大78-48金沢大・最終結果▽9位

平成25年度卒業ダンス公演 300人以上がダンス披露



華麗なダンスを披露する修了生

ユニークな作品で笑いも

体育専門学群舞踊研究室が主催する平成25年度卒業ダンス公演が2月13日、筑波大学大会館講堂で行われた。学生や一般市民らでほぼ満席となった観客席が、ステージ上で演技する学生らに向けて手拍子や声援を送られ、会場は盛り上がりを見せた。

公演には、筑波大の体育専門学群開設の授業「ダンス特別実習」の受講生や筑波大のダンス部員など300人以上が出演。3、50人のグループごとに、創作ダンスを披露した。企画や当日の運営・ダンスの振り付けなどのほとんどは、舞踊研究室の専攻生を中心にして学生が行った。

「ダンス特別実習」受講生の作品「生きてることが辛いなら」では、森山直太郎の同名の楽曲の世界観をダンスで表現。会場は感動に包まれた。一方、修了生作品「SHIRASU」は生シラスを紹介する音楽に合わせて4名の修了生がシラスを演じるというユニークな作品で、絶妙な演技が観客の笑いを誘った。

さらに、昨夏に開催された第26回全日本ダンスフェスティバルの創作コンクール部門で文部科学大臣賞を受賞したダンス部作品「からだから」が特別披露された。私たちがからだをもってしている意味を問いかけた本作品。圧巻の演技に、会場からは万雷の拍手が送られた。

ダンス部元部長で本公演にも出演した水島晃太郎さん(平成25年度体育専門学群卒)は公演後、「出演者や観客など、多くの方から『楽しかった』『面白かった』という声が聞けてとてもうれしい」と話した。また、卒業ダンス公演について「これだけ大規模な卒業公演を行う大学は珍しい。出演者側も観客側も、ダンスを通して刺激を受け、人生を豊かにする何かを見つけている場になっている」と話した。

ピアノ愛好会卒業コンサート

「情熱大陸」などを演奏 美しいメロディーで拍手誘う



会員の美しいピアノ演奏

ピアノ愛好会の卒業コンサートが2月15日、ノバホール(つくば市吾妻)で開催された。

コンサートでは、同年度で引退する卒業生を含む9人がこれまでの成果を披露。葉加瀬太郎作曲の「情熱大陸」やショパン作曲の「スケルツォ 第2番 変奏」などが演奏され、美しいメロディーが会場に響き渡ると、観客から大きな拍手が起った。

エリック・サティ作曲の「4つのオジーヴ」を演奏した橋内沙稀さん(平成25年度人文系類卒)は「最後のコンサートで満足いく演奏ができて良かった。これからもピアノを続けていきたい」と笑顔で話した。

会長の小泉勇人さん(工

「4つのオジーヴ」を演奏した橋内沙稀さん(平成25年度人文系類卒)は「最後のコンサートで満足いく演奏ができて良かった。これからもピアノを続けていきたい」と笑顔で話した。

会長の小泉勇人さん(工

卒業・修了制作展 集大成を披露

平成25年度筑波大学芸術専門学群卒業制作展・博士前期課程芸術専攻修了制作展が2月4日-23日までつくば美術館(つくば市吾妻)で開催された。芸術学、美術、構成、デザイン専攻の学群生や、芸術学領域群とデザイン学領域群の大学院生らが学生生活の集大成として作り上げた作品を展示し、多くの来場者でにぎわった。

若狭会賞を受賞した橋岡るのさん(平成25年度芸術学)は「先輩たちの背中を思い出して描き出した洋画。骨に響かした少年が、自分を構成している物質も昔は恐竜の一部だったのかもしれないと遠い昔に思いを馳せ、恐竜と自分とのつながりを意識している姿が描かれている。他にも、音と映像を使った作品や等身大の人物彫刻などさまざまな趣向を凝らした作品が展示された。土浦市から来た女性は「この作品も一生懸命やった成果が出ていて面白い」と話した。(20面に関連写真)

南米の音楽を奏でる 民族衣装の紹介も



コンサートで行われた「ファッションショー」の様子

南米の民族音楽などを披露する、第27回フォルクローレ定期コンサートが3月1日、ノバホール(つくば市吾妻)で行われた。フォルクローレは南米アンデス地方を中心とする民族音楽の形態。同コンサートは筑波大学のフォルクローレ愛好会とフォルクローレサークル南が毎年共同開催しているもので、約300人の観客が訪れた。

コンサートでは3、9人で結成した7グループが演奏。ケーナやチャランゴといった南米独自の楽器で、落ち着いた台奏曲から情熱的な曲まで、多様なジャンルを演奏した。

また今回は特別企画として「南米ファッションショー」が行われた。100種類以上あるといわれるフォルクローレのリスムは、それぞれの民族や村

の伝統に基づいて誕生したものがほとんどで、リズムごとにダンスや衣装が異なる。舞台ではOBによる生演奏にあわせ、華やかな衣装を身に付けたサークル員らが登場。アマゾン tribeの狩りの儀式から派生した四拍子の「トバズ」や南米の銀山で動かせた黒人奴隷が持ち込んだ伝統的な二拍子「カポラル」など5つのダンスを披露し、観客らは手拍子をしながら南米の多様なリズムを楽しんだ。

アンコールではフォルクローレの代表曲「花祭り」が演奏され、会場は大盛況のうちに幕を閉じた。

委員長の太田萌絵さん(人文3年)は「何より、出演者も観客も楽しめる舞台となったうれしかった」と笑顔で話した。(20面に関連写真)

ギターマンドリン部第35回定期演奏会 多彩なジャンルの演目 最後は部員全員で合奏

筑波大学ギターマンドリン部第35回定期演奏会が2月11日、つくばカピオ(つくば市吾妻)で行われた。演奏会は3部構成で、映画主題歌のほか、マンドリン専門の曲まで、多彩なジャンルを披露した。演奏方式もマンドリンアンサンブルやギターとマンドリンのデュオなど多様で、指揮者も部員が担当。同演奏会



部員全員によるギターとマンドリンの合奏

で引退となる3年生をはじめ、部員一人ひとりが活躍する舞台となった。

第3部は部員全員による合奏で組曲「オペラ座の怪人」などを演奏。18人で迫力あるステージを作り上げた。アンコールでは昨年話題となった映画「風立ちぬ」の主題歌「ひこうき雲」を奏で、指揮者の力強い拍手が送られた。

部長の加藤あかりさん(生資4年)は「部員が少なかつたが、仕事を分担したおかげで演奏会を無事に終えることができた。多くの方に来場してもらえてうれしい」と安堵の表情を見せた。

手紙



千葉大学准教授
高原茂 さん

狭い価値観を解き放て

すでに筑波大学に入学してから40年近く経ちました。でも青春の欠片が筑波のあちこちに落ちています。中央図書館工事のバイトをしました。そのお金でサイクリング用の自転車を買いました。筑波付近はもちろんですが野麦峠(生資4年)は「部員が少なかつたが、仕事を分担したおかげで演奏会を無事に終えることができた。多くの方に来場してもらえてうれしい」と安堵の表情を見せた。

そのまま世界放浪の旅に出て、先輩方のように外国で研究したくもあつたのですが、三井東洋化学に就職しました。当時ピカピカの国立大学から木造平屋もある古い会社で光ディスクの開発チームに入りました。人生の楽しみ方を追及している多様な方々ばかりで、企業で研究するのも悪くありません。筑波大学出身の方々もさらに加えたチームからCD-Rとして市販され、ものすごい数が世界中に売られました。でもコスト競争にさらされ今はありません。フタロシアニン誘導体が世界で初めてCD-Rの光記録膜として実用化される様子を開発現場で黎明期から製品化、終焉まで見るのができました。現在、千葉大学で工学系教員をする支えです。

このような経験をすると味をしめてやめられなくなるそうです。自分の造ったものが世界を変えていく……。ウーンたまらない。ところが会社から国の研究プロジェクトに参加し、超微粒子の研究や超分子科学の海外視察などしているうちに何を勘違いしたのか企業ではできない研究(やってみないとわからない)研究一から始めるのは会社ではとても難しいです。に転職してしまいたくありません。動く場所を変えるのと組織や価値観の違いが際立って感じられます。そこで研究室の基本方針を三つ立てました。その一つが「呪いを解く」と呼ばれているものや狭い価値観から自らを解放し自分の世界を構築することです。また、少し面白い自分の世界をのんびりしたいところで、さらにそこから導かれる新しいこと、それに加えて……とオリジナリティの連鎖も楽しみたいよう。

学生の頃、また第一学群の西側に広い空地があった。こっそりコスモスの種をまいたら強風の中で咲き誇っていました。ある日、可愛い女の子がその花を摘んでいるのを見かけて密かにふふ。(夢だったかも)ではまたどこかでお会いしましょう。(昭和54年度自然学類卒)

そのままだと「呪いを解く」と呼ばれているものや狭い価値観から自らを解放し自分の世界を構築することです。また、少し面白い自分の世界をのんびりしたいところで、さらにそこから導かれる新しいこと、それに加えて……とオリジナリティの連鎖も楽しみたいよう。

学生の頃、また第一学群の西側に広い空地があった。こっそりコスモスの種をまいたら強風の中で咲き誇っていました。ある日、可愛い女の子がその花を摘んでいるのを見かけて密かにふふ。(夢だったかも)ではまたどこかでお会いしましょう。(昭和54年度自然学類卒)

Hola 独・仏・中・露・西・朝鮮・アラビア語 Bonjour 안녕하세요 Здравствуйте
Guten Tag 你好
السلام عليكم
魅力満載 どう言語選ぶか

デザイン=姉崎信(心理学類2年)

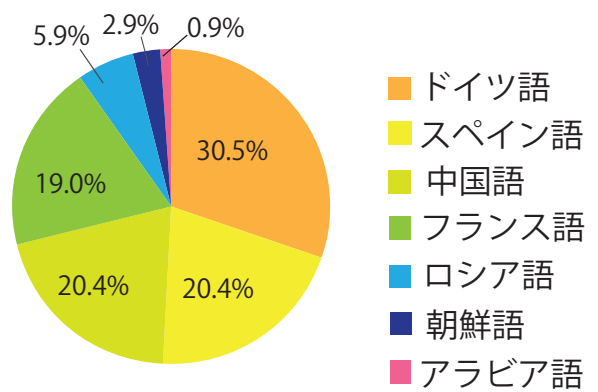
「少人数で丁寧な指導」

ア語の授業を担当する白山
しかし、筑波大学でロシ
ア語の授業を担当する白山
会話練習を数多く積めるた
経済成長を背景に、ロシア
語の社会的・経済
的ニーズが高まっ
ており、ロシア語



ロシア語は日本人にはあ
まり馴染みのないキリル文
字を用い、語形が多様に変
化するため難しい言語と言
われる。
先生から丁寧な指導を受け
られるほか、ロシアのネイ
ティブ教員による実践的な
会話練習を数多く積めるた
経済成長を背景に、ロシア

平成25年度 履修者割合



英語以外にも言語を

国際化が進む
現代社会で、英
語に加えて別の
言語を学ぶこと
には大きな意義
がある。履修す
る言語が将来の
キャリアに影響
することも考え
られるため、選
択は慎重に行い
たい。
国際化が進む
現代社会で、英
語に加えて別の
言語を学ぶこと
には大きな意義
がある。履修す
る言語が将来の
キャリアに影響
することも考え
られるため、選
択は慎重に行い
たい。



授業で扱うドイツの絵画を広げる武井教授

「慣れれば簡単」

「慣れれば簡単」
武井教授は「言葉の習得
は音楽やスポーツと同じ
練習しないと長さは分ら
ない。それを踏まえた上で
言語を学び、ドイツ語を自
分の学問分野に役立ててほ
しい」と話した。



ドイツ語は、周辺国
から多くの小国に分散
しているドイツは、周辺国
からの輸入語も多い。また
ドイツ語は、周辺国
から多くの小国に分散
しているドイツは、周辺国
からの輸入語も多い。また
ドイツ語は、周辺国
から多くの小国に分散
しているドイツは、周辺国
からの輸入語も多い。また

「現地で観光」目標

「現地で観光」目標
スペイン語について語る宮崎准教授
スペイン語について語る宮崎准教授
スペイン語について語る宮崎准教授
スペイン語について語る宮崎准教授



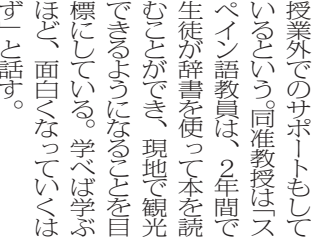
スペイン語について語る宮崎准教授

スペイン語について語る宮崎准教授
スペイン語について語る宮崎准教授
スペイン語について語る宮崎准教授
スペイン語について語る宮崎准教授

国際的な視野をもつ学生の育成を目指す、筑波大学。初修外国語が必修となっ
ている学類の新生は、入学直後などの言語を学ぶのかという重要な選択を迫ら
れることになる。授業が開講されている初修外国語のうち、ドイツ語・中国語・
ロシア語・スペイン語に焦点を当て、各言語の魅力に迫った。(鈴木拓也、油布
知夏||人文学類、坂本太郎、新田萌夏、林健太郎||社会学類、添島香苗||生物学類)



スペイン語は日本語と同
じく、子音と母音が交互に
並ぶことが多いため発音が
容易で学びやすいとされ
る。しかし一方で学びにく
い点として①動詞の活用変
化が複雑②語順が自由……
などが挙げられる。動詞の
語尾変化によって主語が推
測できるため、主語の置か
れる位置に決まりがなく、
構文理解に慣れが必要だ。
筑波大学のスペイン語の
授業ではこれらの点を学生
が克服できるように、ネイ
ティブの教員による授業
や、論理的理解の助けとな
る丁寧な文法解説が行われ
ている。例えば、実際に授
業で教壇に立つ宮崎和夫准
教授(人文学類)は、期末テ
ストの答案を二人ひとり添
削し、生徒に返却するなど



中国語は漢字を使うの
で日本人には学びやすい。
中国語の授業を担当する池
田晋助教授(人文学類)はこ
う話す。漢字の意味は共通
しているものが多く、日本
人には分かりやすいのが特
徴だ。
しかし、発音は日本語と
大きく異なる。中国語は一
つひとつの音節に異なる4
つの高低アクセント(声調)
があり、それぞれ漢字と意
味が違う。同じ「ma」と
いう音でも、声調によって
「母、麻、馬、罵る」と別々
の意味を持つ。授業ではこ
のような発音の学習を重点
的に行っており、発音の練
習だけで1カ月近くかかる

	ロシア語	中国語	スペイン語	ドイツ語
母語話者数	約1.5億人	約12億人	約2.5億人	約1億人
話されている国	ロシア、グルジア、ウクライナなど	中国、台湾、インドネシアなど	スペイン、チリ、メキシコなど	ドイツ、スイス、オーストリアなど
魅力	独特のキリル文字に触れられる	日本語や漢字の知識も豊かに	多くの人と意思疎通が可能	日本と文化が似ている親しみやすい
学びやすさ	少人数クラスでの丁寧な指導が可能	漢字の意味の理解がしやすい	日本人にとって発音しやすい	英語と単語の綴りが似ている

各言語の特徴

また、同助教は「中国語
を学習すると日本語や漢字
の知識も増える」と話す。
例えば、中国語の「鳳梨
(フォンリイ)」という単語は「パイナップル」を意味する。一
方で日本語の漢字検定
1級相当の語句にも
同じ漢字と意味の「鳳梨」があり、中国語を
勉強することで難読漢
字を覚えたり、漢字の
意味を深く知ることが
できる。
同助教は「(日
本と密接な関係にあ
る)中国や中国人につい
てぜひ学んでほしい」と話
す。

漢字の奥深さ知る

漢字を使うという点
で日本語と共通してお
り、学びやすい中国語
——。同助教は「(日
本と密接な関係にあ
る)中国や中国人につい
てぜひ学んでほしい」と話
す。



中国語について語る池田助教

反響大きく中国語版を出版

人民日報出版社から

同じ漢字を使っても、日中韓で意味が全く異なる言葉がある……。こんな事実を基に佐藤貞悦教授(人社会系・国際日本研究専攻)が「日中韓同字異義小辞典」(勉誠出版)を2010年に出版して約4年。各国での反響は大きく、このほどその中国語版が「人民日報出版社」から出版された。佐藤教授は「日中韓が政治的に対立するこんな時代だからこそ、学術などの民間交流が盛んになるべきだ」と話している。(筑波大学新聞編集代表・教授、福原直樹)



辞典の日本語版、中国語版(右)を持つ佐藤教授

佐藤教授によると日本語版の執筆のきっかけは台湾に滞在中の1980年。現地である日、「公衆」電話が中国語で「公用」電話となっているのに気づいた。日本で「公用」とあればそれは「役人が使うもの。だが中国語での「公用」は「誰も勝手に使っていないもの」の意だった……。そしてその後、調べると日中韓の間で、同字異義語が数

多くあることが分かった。例えば日本語の「愛人」は、中国語では正式な婚姻関係に基づく夫や妻、また韓国語では恋人の意。一方、日本、韓国語で「発覚」は悪事が明るみにでることだが、中国語では単に「気づく」の意味となる。

このほか「怪我」や「油断」、「言葉」などは日本語に独自の熟語で、中国、韓国語にはない。一方、「汽車」は現代中国語では「自動車」の意味で用いられる。日常的な300語を収めた日本語版は、「このような辞典は世界で初めての(人民日報出版社)などの大きな反響があったという。

中国語版はA5版約230ページ。言語学の権威劉勳寧・明海大学教授が監修した。佐藤教授は近く、日中韓の日常マナーの違いについても出版予定だが、この本も人民日報社で翻訳が検討されている。

東北の食べ物や酒を販売

東日本大震災復興支援イベント「食と酒 東北祭り」



来場客に日本酒を販売する酒造社員

被災地の写真の展示も

筑波大学生企画の東日本大震災復興支援イベント「食と酒 東北祭り」が3月21-22日に、つくばセンター広場(つくば市吾妻)で開催された。岩手、宮城、福島から12の酒造が集まり、従業員が日本酒を販売。東北の各地グルメの販売や、筑波大の落語研究会の公演なども行われ、訪れた人々は酒とともにイベントや食事を楽しんだ。

このイベントは、立川哲之さん(生資3年)が「つくばの人が東北のことを考えるきっかけを作りたい」と企画したもので、昨年に実行委員会を設立。東北の酒造を訪れ、祭りへの出店を直談判してきた。

「震災を風化させてはいけない」との思いから、会場の中央には、実行委員が被災地を訪れた際の様子を

まとめた写真付きのレポートが展示された。展示を見た来場者の男性は「復興に向けて、頑張っている様子が伝わってきた」と話した。会場では日本酒を販売した福島県郡山市の「笹の川酒造」代表取締役社長の山口哲司さんは「売り上げが放射能の風評被害で7割落ちた。今も売上は回復しておらず、お客さんに説明しながら販売できる場はありがたい」と語った。

津波で工場が全壊し、従業員が多くが被災したという岩手県陸前高田市「酔仙酒造」の顧問の梅原宏さんは「陸前高田と聞いて、涙ながらに日本酒を買ってくださったお客もいた。本当にうれしい」と話した。

筑波大学新聞取材班

永田学長を表敬訪問 警察から感謝状贈呈で

筑波大学の防犯意識の向上を促すチャナリズム活動が評価され、つくば中央署から感謝状を贈呈された筑波大学新聞取材班が2月、筑波大学の永田恭介学長を表敬訪問した。

同紙は一般紙が大きく取り上げない、筑波大学周辺で起る犯罪の多さに着目。学生や大学職員のほか、地域への情報提供を行うおと、一昨年から同署やつくば市消防本部、大学周



永田学長に取材活動を説明する取材班

辺の研究機関や地域住民などへの取材を始めた。防犯に関する学生の意識調査のほか、暗い夜道での現場レポート、つくば市への取材を実施した。

1月に行われた感謝状授与の経緯や、取材方針を説明された永田学長は「大学だけでなく、さまざまな機関や人に取材している点が素晴らしい。これからも多角的な記事を目指して頑張ってください」と話している。

筑波大学新聞(発行部数2万部)は同大学の学生が編集。年7回発行され、学内のほか、つくば市役所など筑波大学周辺で無料配布されている。

まどめた写真付きのレポートが展示された。展示を見た来場者の男性は「復興に向けて、頑張っている様子が伝わってきた」と話した。会場では日本酒を販売した福島県郡山市の「笹の川酒造」代表取締役社長の山口哲司さんは「売り上げが放射能の風評被害で7割落ちた。今も売上は回復しておらず、お客さんに説明しながら販売できる場はありがたい」と語った。

津波で工場が全壊し、従業員が多くが被災したという岩手県陸前高田市「酔仙酒造」の顧問の梅原宏さんは「陸前高田と聞いて、涙ながらに日本酒を買ってくださったお客もいた。本当にうれしい」と話した。

蒲島熊本県知事が講演 くまモンが会場を沸かせる



講演する蒲島知事とくまモン

今年度より筑波大学大学院システム情報工学研究科に社会工学専攻が新設されることを記念して「社会工学専攻発足記念シンポジウム」が2月15日、つくば国際会議場(つくば市竹園)で行われた。

シンポジウムでは、元社会工学系教授の蒲島郁夫熊本県知事の講演や、一橋大学大学院経営学教授の土岐大介さんら3人の社会工学系卒業生によるパネルディスカッションが行われ、会場には大学関係者など1500

人以上が訪れた。また、蒲島知事とともに熊本県のPマークを授けられた。また、蒲島知事とともに熊本県のPマークを授けられた。また、蒲島知事とともに熊本県のPマークを授けられた。

自分自身をとらえ直せた

Rキャラクター「くまモン」、大学院の他専攻に先立ち学位プログラム制が導入される。産官学の連携も重視し、日本IBMや鹿島アントラーズから客員教授を招く。

同専攻では2つの学位プログラムがあり、社会問題を数理的手法で解決する「社会学」の修士と博士、社会工学をサービスマネジメントで生かす「サービスマネジメント」の修士と博士の学位取得が可能。

蒲島知事は「社会工学は数学をベースにした学問で、応用可能性が高い。社会工学的なアプローチがより行政に反映されることを期待したい」と話した。会場を訪れた他大学の学



アメフト観戦時に友人と(中央が武田さん)

武田栄華(アメリカ) ヌタ大学(アメリカ)

日本を出発してから7カ月。ロッキー山脈が見える。大きな景色も、体中の水分が奪われそうになる強い日照りと乾燥も、今や日常となりながら、リベラルな校風のアメリカに着保つユタ大学で、私は社

業を中心として社会学の授の周りがまるごと取っかえられてしまったような新鮮さ。異国で学ぶ社会学は日本ではあまり取り上げない。本ではあまり取り上げない。本ではあまり取り上げない。

アメリカに着保つユタ大学で、私は社会学の授の周りがまるごと取っかえられてしまったような新鮮さ。異国で学ぶ社会学は日本ではあまり取り上げない。本ではあまり取り上げない。

生は「学んだことが社会に出てすぐ役立つのは魅力。ぜひ入学を検討したい」と笑顔で語った。

3学位プログラム制II学位を取得する上で達成すべき目標を事前に定め、教員が

ICタグを用いた自転車・バイク登録制度で、筑波大学は今年度から未登録自転車の強制撤去や迷惑駐輪に対するメールでの警告などを始める。

学生生活課によると、4月下旬ごろから学生のアルバイトを雇い、未登録自転車の撤去を開始する。ICタグを用いた登録制度は全園初の試み。

ひったくりや路上強盗

街灯ない道で相次ぐ

筑波大学春日エリア周辺 路上で今年に入り、深夜の「ひったくりや路上強盗事件」とがしばしば中央警への取材で分かった。人気のない道で分かった。人気のない道で分かった。人気のない道で分かった。



春日エリア周辺



人工衛星「結」 打ち上げ後、データ受信できず

デザイン=姉崎信(心理学類2年)



上=「結」からの電波受信を試みるメンバー 下=打ち上げを見つめるパブリックビューイングの来場者

電源回路の不具合が原因? 開発チーム 復旧作業続ける

種子島宇宙センター(鹿児島県)で2月28日未明、筑波大学発の超小型人工衛星「結」の打ち上げが成功した。しかし、打ち上げの約100分後から開発チームが受信するはずの「結」の電波が、1日になってもまだ届かないまま。「結」はきつと生きています。現在、プロジェクトチームが懸命の復旧作業を行っている。(井口彩二社会学類2年)

「結」は2011年、筑波大システム情報系が設けた学生中心のプロジェクトチームが開発。宇宙航空研究開発機構(JAXA)のロケットに相乗りし、宇宙では地球を周回しながら衛星内部の温度などを地上に送信する予定だった。開発のほぼ全ての行程に学生が携わり、試行錯誤を繰り返しながら製作してきただけに期待は大きかった。しかし、打ち上げ後、地上へ届く予定だった電波を筑波大の無線機などで受信できず、この状況は4月1日まで続いている。プロジェクトチームによると、地球を周回していることは確認できているが、受信は成功しないまま。同チームによると、トラブルの原因は「結」の無線機や電源回路の不具合の可能性があるという。現在、同チームは「結」にバックアップの機器を使うことを求める信号を送るなど、さまざまな対策を進めている。



映画を作成したメンバー

筑波大学創造的復興プロジェクト ドキュメンタリー映画製作 「いわきの声を人々に」

芸術を通じて東日本大震災の復興支援や被災地のコミュニティ再生を目指す「筑波大学創造的復興プロジェクト」製作のドキュメンタリー映画「いわきの声を人々に」が2月21日、大学会館ホールで上映された。映画は震災の被災地、福島県いわき市が舞台。若者から老人、会社員や事業経営者、農家、漁師などさまざまな立場の人々の想いや気持ちを中心に取り上げた。制作では、11人の学生が現地取材。撮影時間は延べ90時間以上に及んだ。その際、震災当時の状況や震災が人々の生活に与えた影響などについて現地の人々と意見を交換した。東京都から来た会社員の男性は「報道ではあまり注目されない被災者の気持ちを取り上げられた映画で、たくさんの方を学ばう機会となった」と語った。また、同プロジェクトに参加した三藤素乃さん(国総3年)は「いわき市の人たちの素直な声を聞くことができて良かった。少しでも多くの人にいわきのこと、震災のことを知ってほしい」と話した。

同プロジェクトでは過去ライブは月に1回程度で、他の音楽サークルと合同ライブを行うこともある。部員は各自の都合に合わせて練習に励む。ライヴは月に1回程度で、他の音楽サークルと合同ライブを行うこともある。部員は各自の都合に合わせて練習に励む。

平成25年度卒業式 4254人が 巣立つ 平成25年度筑波大学卒業式及び筑波大学大学院学位授与式が、3月25日に大学会館講堂で行われた。2233人の学群生、18人の理学部教員養成施設生、2003人の大学院生が卒業、修了を迎えた。当日は青空の下、スーツや振袖に身を包んだ卒業生や保護者が訪れ、会場は満席となった。式には昨年のNHK紅白歌合戦に出場した歌手、クリス・ハートさんが筑波大の卒業生として参加した。式には昨年のNHK紅白歌合戦に出場した歌手、クリス・ハートさんが筑波大の卒業生として参加した。

映画は2月16日いわき市、3月2日に東京都渋谷区、3月11日つくば市でも上映会が開かれ、各地で反響を呼んでいる。大のメッセージソング「IMAGINE THE FUTURE」未来を想いを熱唱し、門出を祝福した。式の後には大学会館前の広場で在学が卒業生らの門出を祝った卒業生らは「親元を離れ最初は不安だったが、たさんの友達に恵まれ最高の4年間を送れた」「就職し、また新しい生活が始まるが、社会に出ても自分らしく過ごせるようにがんばりたい」「学んできたことを生かし、世界で活躍できるような人になりたい」と満面の笑みを浮かべながら、思いを語った。(20面に関連写真)

アンプラグド

「電気プラグを抜いたを意味する言葉「アンプラグド」。そのサークル名の通り、彼らはエレキギターや電子楽器を使わず、アコース

放課後の教室から漏れる、アコースティックギターの温かな旋律。そこだけタイムスリップしたかのような、どこか懐かしい空気が漂う。その空間を紡ぎ出すのは、弾き語りクラブ「アンプラグド」の部員たちだ。



ギター一本で音楽と向きあう

ながら思い思いにギターを鳴らし、歌を歌う。時には部員同士で感想を言い合ったり、技術向上を目指す。田村慎さん(心理4年)

「引退」制度はなく、大学院生も多く在籍。年度の途中から入ってくる部員も多い。会長を務める田村慎さん(心理4年)

「引退」制度はなく、大学院生も多く在籍。年度の途中から入ってくる部員も多い。会長を務める田村慎さん(心理4年)

Who's Who?

「結」プロジェクトメンバー

鳴津龍弥 さん (構エネ2年)



「結」の開発室でほほえむ鳴津さん

2月28日午前3時37分、鹿児島県の種子島宇宙センターから、1機のロケットが発射した。ロケットに搭載された衛星の一つに、筑波大学のプロジェクトチームが製作した超小型衛星がある。その名は「結」。宇宙のはるか彼方へと消えていくその姿を、じっと見つめた。

「結」は、1辺約10センチの立方体で、重さは1.2kg。企画から製作、打ち上げ後の電波受信まで、ほぼ全ての過程を学生が行う。宇宙航空研究開発機構(JAXA)の人工衛星に相乗りし、打ち上げから約37分後に宇宙で分離した後、衛星内部の温度などを地球に送信する。

幼いころから宇宙にあこがれを持っていたが、STEPで人工衛星を開発できる資金調達するのは難しい。その悩みの中、3年生の時に出会ったのがSTEPの先輩に紹介された「結」プロジェクトだった。

宇宙間の衛星の温度変化を予測し、衛星の温度や表面の設計などを決定する熱構造関係の作業や、衛星が地球を周回する際の温度や振動、衝撃に耐えられるのか評価するテスト(宇宙環境試験)に携わってきた。特に苦労したのは後者。地球を周回する衛星が耐えなければならない温度はセ氏マイナス40度から40度と幅広い。また振動・衝撃試験では、衛星が受ける衝撃の大き

全力で製作

「最後まで諦めたくない」

「結」は、2月28日以降地球を周回し、さや回数衛星が壊れないよう調整しながら正確に与える必要がある。メンバーと交代しながら、時には泊まりこみでテストを続けた。「少しの誤差が大きな失敗につながる。途中でトラブルが起きる度、テストの責任者として対処するのが大変だった」と言う。

チームの最上級生として、メンバーを取りまとめるのも役目だ。プロジェクトが発足した当初は2人しかいなかったメンバーも、「結」の知名度が上がるにつれて増え、現在は約20人の学生が参加する。また人工衛星を作りたという思いだけで参加したプロジェクトだったが、メンバーと試行錯誤を繰り返す中で、衛星の製作以外にも重要なことがあることを学んだ。「大きなものは一人の力だけで作ることはできない。目標を達成するためにどのようにチームを動かすべきか考えるのは楽しく、やりがいのあることだった。」

「結」は、2月28日以降地球を周回しているが、まだ地上でのデータ受信に成功していない。現在、プロジェクトチームのある総合研究棟Bの一室では、チームのメンバーがごく微量の電波を捉える特殊な受信機を使い、懸命の受信作業を続けている。「結」の状況はまだ分からないが、「自分がこれまで努力してきた成果として何か残せるよう、受信作業はこれからも続けていく」。全力で製作に取り組んだからこそ、最後まで諦めたくない思いがある。一方で、早くも「結」の後継機の開発が計画されている。「他大学の衛星開発チームなど、「結」を継いだつなかりを生かしたい」と、人工衛星開発の道はこれからも続く。

大学院では、「宇宙以外のことに對しても視野を広げたい」と、スポンジなどの「発泡材料」を研究している。「結」プロジェクトを通して皆でものを作り、完成させる喜びを知った。人の役に立つにはどうすればよいか、結果だけではなく過程を大切にすることが大切だ(井口彩二社会学類2年)

編集後記

春は引越シーズンです。大学の一人暮らしを前に、実家にある思い出の品を捨てるか悩んだ新生活も多いいのではないのでしょうか。大学新聞編集室も今春、耐震工事に伴って引越となりました。移動前の準備では、棚の奥底から発掘した「思い出ボックス」と書かれた謎の段ボール箱の処遇に困り果てながらも、何とか引越を終えることができました。思

次号は

5月19日(月)

発行予定です

ライフセービング・プール競技選手権



マネキンに救命用の浮きを装着する選手

15面へ

スポーツ

フォルクローレ定期コンサート



全身を使って表現する公演者

16面へ

学芸

卒業・修了制作展



作品に見入る来場者

16面へ

学芸

卒業・修了記念式典



袴に身を包み学位記を受け取る卒業生

19面へ

学生生活